

令和3年のキンメダイ調査結果

本場ではキンメダイ水揚量や尾又長測定等を行っています。今回は令和3年の結果を中心にまとめましたので、報告します。

1. 水揚量調査

(1) 伊豆東岸沖漁場

令和3年1～12月の伊東市場の水揚量は30.2トンで、前年(16.1トン)を上回り、過去10年(平成23～令和2年)平均(52.1トン)を下回りました。1隻1日当たり水揚量(CPUE)は20.9kgで、前年(13.7kg)を上回り、過去10年平均(23.3kg)を下回りました(図1)。黒潮が大蛇行となった平成29年9月以降は低調な漁模様が続いていましたが、黒潮が伊豆東岸から遠ざかった3、4月の水揚量は過去10年平均を上回り、好調でした(図2)。

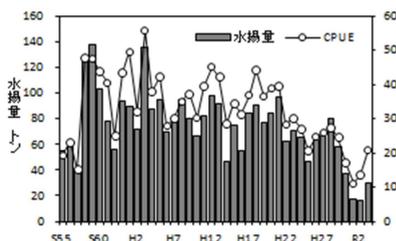


図1 水揚量とCPUEの経年変化(伊東市場)

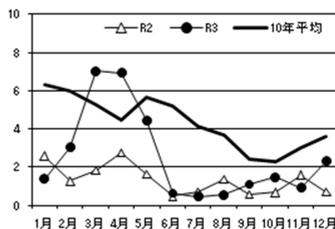


図2 月別の水揚量(伊東市場)

稲取の水揚量は59.5トンで、前年(49.0トン)を上回り、過去10年平均(79.9トン)を下回りました。1隻1日当たり水揚量(CPUE)は28.8kgで、前年(24.3kg)、過去10年平均(21.8kg)を上回りました。水揚量、CPUEとも長期的に減少傾向がみられていましたが、CPUEは令和元年以降増加傾向にありました(図3)。伊東と同様に黒潮が伊豆東岸から遠ざかった3、4月の水揚量は過去10年平均を上回りました(図4)。

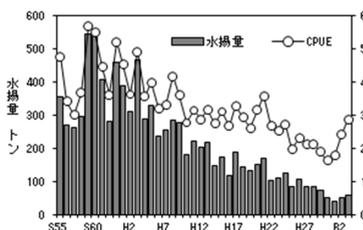


図3 水揚量とCPUEの経年変化(稲取)

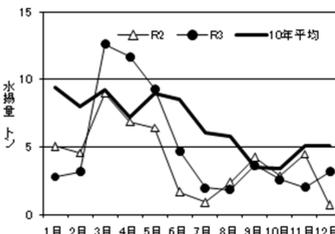


図4 月別の水揚量(稲取)

下田市場の水揚量（島回り含み、須崎共同出荷を除く）は166.8トンで、前年（159.8トン）並となり、過去10年平均（282.2トン）を下回りました（図5）。月別の水揚量は、3、4月の水揚量は前年を上回り好調でしたが、その後減少しました（図6）。

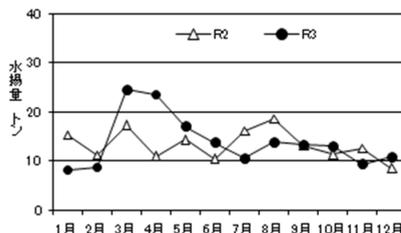
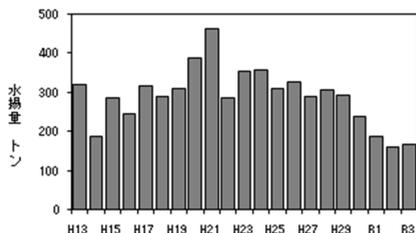


図5 水揚量の経年変化（下田魚市場：沿岸）

図6 月別の水揚量（下田魚市場：沿岸）

(2) 伊豆諸島周辺漁場

伊豆諸島周辺漁場の水揚量（下田市場）は757.8トンで、前年（607.0トン）を上回り、過去10年平均（1,106.2トン）を下回りました。1隻1航海当たり水揚量（CPUE）は4.0トンで、前年（3.7トン）をやや上回り、過去10年平均（3.4トン）を下回りました。近年、隻数の減少により水揚量は低下していますが、平成30年以降CPUEは増加傾向がみられます（図9）。月別の水揚量は4～7月を中心に前年を上回りましたが、過去10年平均は下回りました（図10）。

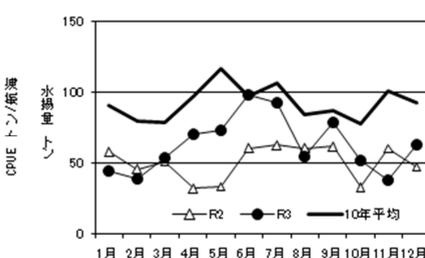
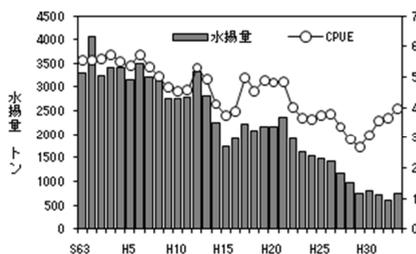
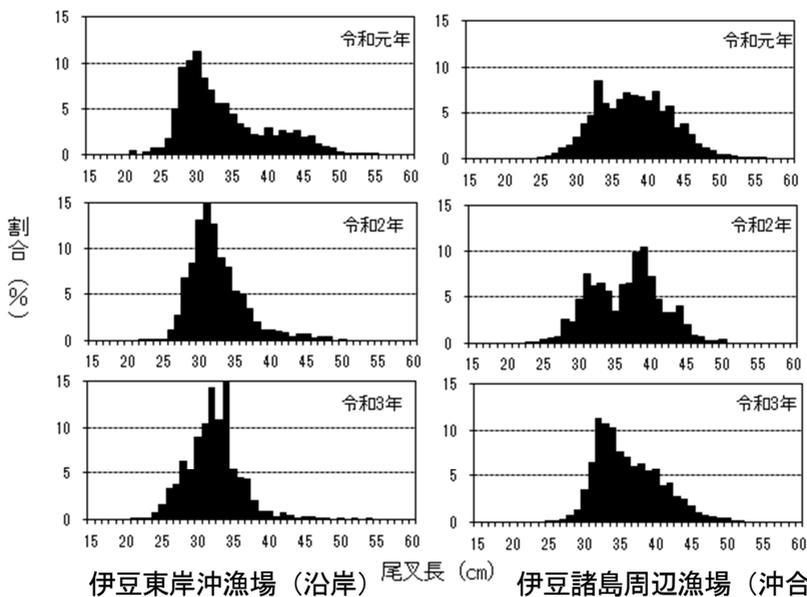


図9 水揚量とCPUEの経年変化（下田市場）

図10 月別の水揚量（下田市場）

2. 尾叉長測定調査

令和3年は伊豆東岸沖漁場（沿岸）では32～34cmの割合が高く、伊豆諸島周辺漁場（沖合）では31～34cmの割合が高くなっていました（図12）。



伊豆東岸沖漁場 (沿岸) 尾叉長 (cm) 伊豆諸島周辺漁場 (沖合)
 図 12 キンメダイ尾叉長調査結果

3. 標識魚の再捕

令和3年度には8尾 (伊東地区放流2尾、東京都放流4尾、千葉県放流2尾) の再捕報告がありました (下表)。

表 キンメダイの標識再捕結果

再捕日	再捕場所	尾叉長 (cm)	体重 (g)	再捕者	標識番号	種類	放流日	放流場所
2021.5.24	東京湾口	31	700	松豊丸 (神奈川県)	SO-K 5073	緑色	2019.12.10	初島
2021.6.18	拓南	46	1900	第5朝潮丸	CB4 162	白色	2000.11.13	東京湾口
2021.7.12	サカサマ 60の40	42	1700	静栄丸	TK5 879	ピンク 色	2008.11.17	伊豆大島
2021.10.12	三本西	32	686	信丸	TK-K 4884	青色	不明	不明
2021.10.13	三本西	33	732	三喜丸	TB1729	赤色	2014.9.16	三本西
2021.10.31	矢筈出	28.5	500	増好丸	SO-C 348	黄色	2021.4.19	初島
2021.11.19	拓南	31.5	630	第11光新丸	TK-H4 679	黄色	2018.5.28	八丈島東 5マイル
2022.2.9	1600 青ヶ島西	41.5	1230	第11光新丸	CB10 V657	黄色	2010.7.1	勝浦沖

(高田伸二)